

金沢市立内川小学校  
平成27年度 学力向上の取り組み（1学期）

1 学力調査（全国学力・学習状況調査（質問紙含む）、県基礎学力調査、県「評価問題」から見える自校の課題について（2の「重点的に行う取組」に関わる課題は太字ゴシック）

<p>(1) 全国学力・学習状況調査</p> <p>国語：「話の中心に気をつけて聞くこと」や「必要な事柄について調べ、要点をメモして話すこと」が十分ではない。</p> <p>：説明的文章において、段落に書かれている内容を正確に理解する力が十分ではない。</p> <p>算数：<b>学習した内容を使って、身の回りの場面を観察したり、式やグラフなどが表わしている内容を読み取ったり、筋道を立てて考えたりすることに課題がある。</b></p> <p>：全体・容器・正味の重さの関係の読み取りが十分ではない。</p> <p>(2) 県基礎学力調査</p> <p>社会：資料のグラフや表の読み取りに課題がある。</p> <p>理科：太陽や星についての理解があいまいである。</p> <p>(3) 県「評価問題」</p> <p>国語：<b>条件に合わせて「書く」力が十分ではない。</b></p> <p>理科：温度による状態の変化についての理解があいまいである。</p> <p>：流れる水のはたらきについての理解が十分ではない。</p>
--

2 自校の課題に対する改善策と検証について（「重点的に行う取組」は太字ゴシック）

	日々の授業で行う取組	授業以外で行う取組
重点的に行う取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>学習のルールについての共通指導。</b></li> <li>・ <b>全校共通のノート指導。</b></li> <li>・ <b>「説明文」の単元の最後に「書く」活動を設定。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>毎週金曜日6限に補充教室。</b></li> <li>・ <b>金曜日に朝学習で、単元別算数プリントに取り組む。担任がすぐに採点することで1人1人の理解力を把握し、きめ細やかに指導。</b></li> </ul>
検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のルール取組週間を設け、結果を掲示する。</li> <li>・ 良いノートを学級掲示する。また、小部会で各学級のノートを交流する。</li> <li>・ 授業での作文を学級掲示し、教師間でお互いに見合う時間を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補充教室の算数プリントで、理解が不十分な児童を指導する。</li> </ul>
検証の規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のルール取組週間で肯定的な評価が7割以上である。</li> <li>・ 国語科で学習した「書く」力が他の教科の「書く」活動に活かされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学期末のまとめのテストで8割以上の正答率がある。</li> </ul>

### 3 年間計画について

	授業で共通して取り組むこと	授業以外で共通して取り組むこと
4月	<b>【日々の授業での取組】</b> ・学習のルール取組週間の設定（毎月末）	<b>【学力調査採点】</b> ・昨年度の学力調査、評価問題の結果と取組事項の確認と実践（～7月） <b>【朝学習・補充教室】</b> ・単元別算数プリントの取組開始 ・補充教室の開始（毎週金曜日6限）
5月	<b>【検証】</b> ・ノート指導チェック ・説明文単元での「書く」学習の実施	<b>【学力調査分析】</b> ・県、国の調査を全職員で解答
6月	・単元末テスト等で定着状況の把握	
7月	・夏期休業中の家庭学習についての確認	<b>【学力調査の結果分析】</b> ・県：学力調査の結果分析および各教科での重点的な取組事項の確認 ・家庭学習の取組時間についての交流
8月		・国：学力調査の結果分析および各教科での重点的な取組事項の確認
9月	<b>【日々の授業での取組】</b> ・国、県の学力の調査事後指導（答え合わせ、問題の解説） ・学力調査で課題になった点や単元を具体策の実施により授業改善。	
10月	・説明文単元での「書く」学習の実施	・前期の取組の検証と後期の取組の設定
11月	・評価問題の事前指導 ・評価問題に向けての補充教室（～12月）	
12月	・単元末テスト等で定着状況の把握 ・評価問題の実施	<b>【評価問題分析】</b> ・全職員で評価問題（5年生）を解き、傾向を把握
1月	<b>【検証】</b> ・評価問題の事後指導（答え合わせ、問題の解説） ・評価問題の結果をうけての補充教室（～3月）	・評価問題の結果を分析し共通理解
2月	・評価問題で課題となった問題に取り組む。	・後期取組の検証と来年度に向けての課題の設定
3月	<b>【検証】</b> ・単元末テスト等で定着状況の把握	